

# 伊賀を深掘り!

# 大人の社会見学

令和6年

11月

22日  
(金)



長谷園

SINCE 1832

## 城下町散策

くらし、気持ち、ピカピカ

## 木村石鹸



### 工場見学



### 陶芸体験



### 応募期間

### 応募方法

応募×切  
10/31(金)

※抽選結果・詳細は11/5以降に  
順次発送します

QRコード  
から応募して  
ください。



くらし、気持ち、ピカピカ

## 木村石鹼

1924年(大正13年)、初代 木村熊治郎によって「木村石鹼製造所」として創業。戦後を経て現在の「木村石鹼工業」となりました。

1968年、三代目 木村幸夫が閉場後の銭湯に通い詰めて開発した浴室用洗剤エアボールは、手肌やタイルに優しく、洗浄の手間も省けると当時大ヒット。今も銭湯事業者に長く使われています。

2013年より、四代目 木村祥一郎に事業継承。職人による“釜焚き”製法を今も守り続けるハウス・ボディケアブランドSOMALIなどを展開。会社の論理より社員の幸福を追求する柔軟な経営方針や、ユニークな商品開発が評価され、ForbesJAPAN「SMALL GIANT'S AWARD 2019」に選出されました。

木村石鹼では、今もなお職人による手作業の釜焚き製法を用いて石鹼を製造しています。今や輸入石鹼原料から作られる石鹼が主流の国内では、片手ほども行われていない釜焚き製法ですが、私たちは職人の五感や経験を研ぎ澄ませながら、一日中、釜と向き合うこの作業でしかたどり着けない品質に、石鹼の可能性を見出しています。質の良い原料の厳選、生成過程での脂肪酸のバランスなど、原料の組成レベルからチューニングすることで純石鹼の可能性を最大限に引き出しています。



## 長谷園

SINCE 1832

江戸後期の天保3年・西暦1832年、三重県伊賀市丸柱山深いこの地に、伊賀焼窯元・長谷園は開窯しました。開窯して以来、「伊賀焼」の伝統と技術を継承し、伊賀の粗土を生かした数々の土鍋・民具を生み出してきました。「作り手は真の使い手であれ」の精神のもと、文明とともに進化するライフスタイルを体感しながら常に時代を見据えたものづくりに専念しています。

長谷園の機能性の高い土鍋は、伊賀の土の特性を生かして作っています。日本で採れる陶土のなかで土鍋になるほどの耐火度、蓄熱性を持つのは伊賀の粗土のみ。そのヒミツは、生物や植物の化石が多く含まれる400万年前の古琵琶湖層から産出される陶土。伊賀の地は太古の昔、琵琶湖の湖底でした。その地層から採れる陶土は耐火性が高く、江戸時代より直火の土鍋・行平・土瓶などがこの地で作られてきました。長谷園では土という貴重な地域の資源を宝物と考え、より良いものづくりに生かすことを常に考えています。



日時

令和6年11月22日(金)  
9:00~16:00

募集人数

20名 ※1世帯2名まで  
※申込み多数の場合は抽選

参加費

陶芸体験費 ¥3,300-  
昼食代は実費

集合場所

伊賀市役所  
三重県伊賀市四十九町3184番地

### スケジュール

- 9:00 ● 集合
- 10:00 ● 木村石鹼 工場見学
- 12:00 ● 昼食 城下町散策
- 14:00 ● 長谷製陶 陶芸体験
- 16:00 ● 解散

お問合せ先

伊賀市企画振興部  
地域創生課 移住定住係  
☎0595-22-9680  
e-mail:  
chisou@city.iga.lg.jp

